

「カムバックサーモン」

羽生市の市立村君むらぎみ小学校の全校児童54人が27日、学校近くを流れる利根川にサケの稚魚約200匹を放流した。児童らはそれぞれ、3、4匹の稚魚が入ったコップに川の水を入れて水温を調節。「行っておいで」などと言いながら、川にそっと放つ

羽生の児童

稚魚200匹 放流

と、全員で水面みなみに向かって「大きくなって戻ってきてね。カムバック！サーモン」と呼びかけた。同校は1991年度から、学校の水槽で卵から体長3〜5センチになるまで稚魚を育て、放流している。今年は市内の有志から卵が提供された。成長したサケが利根川に戻るまでには、4年前後かかるという。



サケの稚魚を放流する児童たち（27日、羽生市で）